

理科だより

発行

平成21年9月30日

編集 RIKADAISUKIMAN

彼岸花



彼岸花は毒性が強い植物です。(理科だより第二号でも彼岸花について触れましたが、植物は時期が来ると本当に正確に咲くので、毎度のこととは言え、関心してしまいます)(年々歳々花相似たり、歳々年々人同じからず：花は毎年同じだが、人は毎年変わっていってしまう・・・何か哀愁を感じます。)田舎に居たときに、彼岸花は毒だから触らないようにと言われたことを思い出します。漫画のちび丸子ちゃんでも、球根を取ってきて育ててみたら彼岸花で「まる子、それって毒なのよ」などとやっていたので、彼岸花が毒である事はかなり有名なのでしょうか。アルカロイドという有毒物質を含んでいるようです。

田畑を荒らす動物を彼岸花の毒で寄せ付けないためにわざと植えてあるという話も聞いたことがあります。降水

量と気温とによって植物群落は変化しますが、田んぼがあるところでは今住んでいるところでも、数百キロ離れた所でも一斉に開花しています。

目薬の木



「目薬の木」という木がありますが、これが正式名称です。目薬の木と言えば司馬遼太郎「播磨灘物語」に出てくる「黒田官兵衛」が、この目薬の木を売って財をなし、それで仕官していくというエピソードがあります。抜粋「播磨灘物語(一)司馬遼太郎著P54」「薬でござるか」「よく効く薬であれば、いっそうよいのでござるか」「・・・それならば」目薬がござる、と重隆は思い出した。理科を調べるつもりで出かけると、いろいろ歴史的な事にも出くわします。「史跡だより」なんかも出せるかも知れませんが、先日散策した「臼井」という所に「臼井城」があります。ここでの戦いで上

杉謙信が苦戦を強いられます。今大河ドラマで取り上げられている直江兼続などがありますが、上杉家の話とつながっていきません。上杉鷹山(うえずぎようざん)という江戸時代の人も有名ですが、「ウコギ」というトゲのある植物を勧めたと言われています。ウコギはトゲのある植物で、東北地方ではほとんどの人が知っているのではないのでしょうか。というのは、福島県郡山の電車で乗り合わせた見ず知らずのおじさんと話をしたら「ウコギ」のことを当然のように知っていたからです。ちなみに、ウコギは春先に新芽を食べます。家の庭にも植えてありますが、どんどん伸びるので、確かに垣根に向いています。



ウコギ

稲

ちょうど稲刈りの季節です。以前生物の問題で、植物ののスケッチが描いてあり、その中

から稲を選ぶのがありますが、都会生活をしていると、そのような常識的なことも問題になってしまうのかと思いました。田舎道を歩いていたら、稲刈りをしている所に出くわし、ふとそんなことを思いました。



ふと気づいたのですが、昔ならイナゴとかタニシがたくさんいたと思ったのですが、上の田んぼでは見当たりませんでした。昔イナゴを取るときには、ビニール袋に細めのパイプを通しておいたものを用意しておき、捕まったらパイプから放り込んでいました。最後はビニールごとお湯の中へ。イナゴの色が一斉に赤くなったのを覚えています。今は農薬とかあるのでイナゴ自体を見かけませんし、仮に捕まえたとしても農薬とかがあるので食べるには少し抵抗があります。生態ピラミッドでは、一番強いものに毒が集まる(生物濃縮)があるので、要注意!